

尼崎市立中央図書館

としょかんNOW

図書館だより

中央図書館だより No.392
令和6(2024)年2月1日発行
尼崎市立中央図書館
〒660-0826 尼崎市北城内 27 番地
TEL (06)6481-5244
FAX (06)6481-2142



図書館ホームページアドレス

<https://www.amagasaki-library.jp>

※お使いの機種によっては、読み取らないこともあります。
※ご利用のポケット通信料は利用者のご負担となります。

尼崎と作家たち 第48回

岩宮 武二 (いわみや・たけじ)

写真家

1920(大正9)年島根県米子市生まれ。1938(昭和13)年にプロ野球の南海に入団するも体を壊して退団。戦後は結核による療養生活を経て、写真家となる。1964年尼崎に移住し、1989年に逝去するまで写真家として活躍した。作品集を数多く出版し、尼崎市市民芸術賞や兵庫県文化賞、芸術選奨文部大臣賞などを受賞、また尼崎市展写真部門の審査員としても長く活動し、尼崎の写真界の発展にも大きく貢献した。逝去翌年の1990年に尼崎市立中央図書館開館記念事業として「岩宮武二展」が開催された。



作品紹介

「Katachi —日本のかたち」

岩宮 武二/写真 高岡 一弥/アートディレクション ピエ・ブックス 1999年発行

紙、木、竹、織、土、鉄、石を材料とする様々な「日本のかたち」は変わりやすく、壊れやすい。ついには周囲の風景や空気に溶けてしまうこともある。だが、すべてのかたちの可変性が日本の優しさであり、強さでもある。それら「日本のかたち」を集めた写真集。





作家・増山実氏講演会

時代に埋もれた人々の声を紡ぐ“物語”

(共催：あまがさき観光局)

時代の移り変わりの中で埋もれてしまった人々の声を拾い上げながら、物語を紡いでいる増山実氏。著書刊行の度に図書館でも予約の申込みが相次ぐ人気作家である氏をお招きし、尼崎市が舞台の小説『波の上のキネマ』をはじめとする作品の創作の過程や裏話、作品にかける思いなどをお話しいたします。

【日 時】3月9日(土) 14:00~15:00

【場 所】1階セミナー室

【対 象】どなたでも(先着50名)

【申 込】Web専用の申込みフォーム

または中央図書館へお電話にてお申込みください。

(TEL: 06-6481-5244)

受付: 2月6日(火)午前9時~3月8日(金)

(定員に達した場合は受付を終了します)

メールフォームは
こちらから



家族のための終活

~相続登記と遺言書保管制度について~

【講 師】神戸地方法務局尼崎支局 登記官 及び 遺言書保管官

【日 時】2月15日(木) 14:00~15:00

【場 所】1階セミナー室

【対 象】どなたでも(先着30名) 事前申込み不要



令和6年4月1日から相続登記が義務化されるなど、不動産に関するルールが大きく変わることになりました。また、令和2年7月10日から開始した自筆証書遺言書保管制度は、相続のトラブルを未然に防ぐ有効な手段の一つです。大切なご家族のための終活に役立つこれらの制度について、法務局の職員が分かりやすくご案内します。

第170回 芥川賞・直木賞の受賞作が決定しました!

芥川賞

くだん りえ とうきょうとどうじょうとう
九段 理江 『東京都同情塔』

(『新潮』2023年12月号 掲載)

直木賞

かわさき あきこ
河崎 秋子 『ともぐい』 新潮社

ま き め まなぶ ほちがつ ごしよ
万城目 学 『八月の御所グラウンド』 文藝春秋



レファレンス室

から

～新刊紹介～

『パブリックスペース活用事典』

(学芸出版社)2023年12月発刊

道路や河川、公園や駅前広場などのパブリックスペース活用について、その歴史や制度を体系化し年表形式で辿るとともに、政策や法令・条例などを使った実際の取組みの例をもとに解説。自治体・企業・市民・研究者、あらゆる立場での実践に役立つテキストになっています。

この資料は、3階レファレンス室でご覧ください。貸出はできません。

3階レファレンス室では調べもののお手伝いをします。遠慮なくお声がけください。

こんな質問がありました！
手紙の最後に書かれた「〇〇(名前) 拝」に、どのような意図があるのか知りたい。



『広辞苑 第7版』(岩波書店)で「拝(はい)」を引くと「書簡文などで自分の名の下に書いて相手に敬意を表す語」とあります。また、**分類番号 816(文法・文章)**の本棚にて手紙の書き方関連の図書に当たると、『**手紙・はがきの書き出しと結び組み合わせ文例事典**』(学研パブリッシング)に“「拝」の意味は?”という項があり、「差出人である自分の姓の後に用いて相手への敬意を表す語」という回答が見つかりました。

中央図書館100周年記念事業

みんなのおすすめ本

教珠つなぎ

第40回

尼崎市ゆかりの方々に、愛読書・おすすめしたい本を紹介いただき、読書の輪を広げるリレー企画です。津久井 進さん(弁護士・公益財団法人こども財団理事長)から推薦された次の方は…

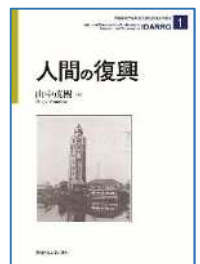
むろさき よしてる

室崎 益輝 さん

(神戸大学名誉教授)

『人間の復興』

山中 茂樹／著 (関西学院大学出版会 2023 年刊)



被災地責任として、災害で学んだ教訓を世界にそして未来に発信することが求められる。その発信すべき重要な教訓として、都市復興やインフラ復興から生活復興や人間復興に転換しなければならない、ということがある。

本書は、その人間復興のあるべき姿を、理念的考察と具体的史実に基づいて、的確に描き出している。これからの災害復興や社会創造を展望するうえでの、重要な視点が提起されている。被災地尼崎が未来に羽ばたくうえでの羅針盤にしたい。

今回は、作家の増山 実さんです。お楽しみに！

2月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3 ◆
4	5	6	7	8	9	10 ◆
11	12	13	14 ●	15	16	17 ◆
18	19	20	21	22	23	24 ◆
25	26	27	28 ●	29		

開館時間 **9:00~20:00**

※ □印は休館日です。

※ ○囲み(日・祝)の開館時間は**17:15**まで。



2月の朗読の会は、 お休みです。

※ 朗読の会はお休みになります。
次回は、3月12日(火)です。



◆おはなしの会

- 14:10~14:25 子ども(0~3歳くらい)と保護者
- 14:30~14:50 4歳くらい~小学生と保護者
- 14:55~15:15 小学生



●コアラくらぶ

11:00~11:30 0~3歳と保護者

詳細はホームページまたは子ども向け図書館だより
「本と友だち」をご覧ください



~2024(令和6)年の干支~

「辰」の本

常設三二展示

2024(令和6)年の干支は「辰(たつ)」ということで、1月・2月は辰・竜(龍)・十二支にまつわる資料を展示しています。十二支や辰・竜を調べる本、辰・竜の絵本・絵画・郷土玩具、戦後の辰年に起こった日本の10大ニュースなども紹介しています。また貸出できる本も集めました。ぜひご覧ください。

期間：2月28日(水)まで

場所：2階 エントランス



担当者のつぶやき

メジャーリーガーの大谷翔平選手は読書家でもあるそうです。日本ハム時代に愛読書だと挙げた中村天風著の『運命を拓く』を私のヨガの先生もおすすめしていました。積極的に生きなさい、という教えだそうです。読んでみようと思います！(M.Y)



3月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						